

助成事業完了報告書

報告日付：平成19年 1月12日

事業内容

ビデオDVD編集に必要な環境整備

パソコンの整備

・手持ちのパソコンはビデオDVD編集にはスペック的に無理があった。そこで、1台の新規組み立てと1台のパソコンの改修を行い、ビデオ編集や講習の中心的なパソコンとして2台の準備をした。

ソフトウェアの購入

- ・ビデオ編集講習会に使用するソフトウェア「エディウス」の購入
- ・発注先と同じビデオ編集ソフトを準備し講習を行った。

DVD編集に使用しているソフトウェアの更新

作業場の改修

平成19年現在の事務所より作業場を伊予郡砥部町八倉に移す予定。同作業場の改修。

- ・入り口 4枚引き戸2枚部分のパネル化
- ・受付カウンターの設置
- ・窓部分のブラインド取り付け・スクリーンとして使用できる壁の新設
- ・トイレ手すりの新設

障害者職業訓練の実施

講習会・研修の場所は特定非営利活動法人「ぶうしすてむ」事務所で開催。

参加者は一般就業か在宅就業を希望している障害者

1. ビデオDVD編集実務研修

5月 ビデオDVD編集発注者説明会

5月10日～6月7日 5日間 4名参加

2. 動画編集実務研修

7月24日～28日 5日間 2名参加

3. ビデオ編集（検査・インデックス）講習会

8月12・13日 2日間 5名参加

4. 画像処理技術者養成講座

11月10日～18日 4日間 5名参加

5. ビデオDVD編集実務研修

1月9日～18日 4日間 5名参加

事業目標の達成状況

・作業場の設備、パソコンとソフトウェアの充実

1. 作業場の設備など、講習に必要なパソコンとソフトウェアを揃えることができた。

ビデオ編集に耐えるパソコン2台とソフトウェアが準備できた。

2. 3月に予定されている事務所移転に対応できる、新しい作業場の諸設備を整えることができた。

・講習会・研修と今後の事業見込み

1. 助成金事業以前は10人の在宅グループで、ホームページ作成やDVD製作・講習会開催などの事業を行ってきた。今年になり3人の一般就業が決まり、補充のためにDVD製作の人手を募集し講習会を開催した。結果DVD製作には従来の受注に対応できる人材の養成ができた。

2. 得意先より、ビデオ編集やグラフィック動画編集への作業拡大要請を受け、募集と講習を始めた。今回の助成金によりグラフィック動画編集2名とビデオ編集4名の講習行った。

・動画編集 エディウス講習会、アフターエフェクト講習会

・ビデオ編集 ビデオ編集（検査・インデックス）講習会、画像処理養成講座、ビデオ編集講習会

当初計画ではビデオ編集で50万円見込んでいましたが、作業者の就職による人手不足で受注減があり20万円になる見込み。新たに拡大した事業では、今年から実務を折り込んだ研修を行い受注増に結びつけたいと思っています。

事業成果物

私どもは一般就業が難しい障害者の在宅就業を目指し、在宅就業の課題である受注等の仲介業務と研修等のメンテナンス部門を持つグループでの就業を目指しています。また、グループ内で自信をつけた作業員の企業への一般就労も大きな目標の一つです。

これまでに、ITを使った厚生労働省の「バーチャル工房」事業を申し入れしましたが自治体のところで進んでいません。また、「障害者在宅就業支援団体」への登録も考えていますが、支援者3人（常駐1人）の人件費が捻出できないため申請が難しい状態です。これからの方向としては、技術や品質を上げて作業者に最低賃金が払える程度の受注増を図り、起業・雇用の方向も考慮に入れながら進みたいと思っています。

この様なタイプの障害者就業支援には行政（福祉）からの支援や助成は無く、事業の経費は会員から寄付や会費と作業者からの自主財源で賄っています。今

回の貴助成金は新たな事業開拓に使わせてもらい、平成19年の事業収入を50万円のアップで見込みました。

ITを使った仕事は付加価値が高く、在宅での仕事は障害者の働き方に向いていると思われます。今後はこの様なグループによる就業形態が多くなることが考えられ、今回の貴助成金を有効に使用させてもらう事により、他の地域の同種の支援を行っている団体の目標になれば幸いです。この度はありがとうございました。